



## ◇令和3年度卒業式

温かな春の訪れを待ちわびるかのように、校庭の木々の芽や桜のつぼみが日一日と膨らみを増した3月10日（木）、令和3度卒業式が挙行されました。

田沼東中学校を巣立つ108名の皆さん、卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。

依然として続くコロナ禍の中、感染症対策として、昨年度同様に参列者を制限し、在校生はオンラインで教室からの参加となりましたが、無事挙行できたことを大変嬉しく思います。



## 【卒業式後、学級での集合写真】

3年1組



3年2組



3年3組



3年4組



## ◇卒業生へのメッセージ（卒業式校長式辞から抜粋）

皆さんは今、無限の可能性のある未来に様々な「夢」を描いていることと思います。ところが、「将来の夢は」との問いに「僕には夢はありません」と答えた高校生がいました。この高校生は、昨年夏に一年遅れでの開催された東京オリンピックで活躍が期待されていた選手です。彼は大会前のある報道番組のインタビューで「僕には夢はありません」と答え、続けて「僕にあるのは夢ではなく

目標です」と頼もしく答えていました。

「夢」には現実から離れた空想や楽しい考えという意味もあります。彼も競技を始めた頃はオリンピックで活躍することは現実から離れた空想としての「夢」だったと思います。しかし、努力を重ね、オリンピックへの出場が決まった今、彼の「夢」は空想ではなく、必ず達成させたい「目標」に変わったのです。

皆さんの「夢」はどうでしょうか。現実から離れた空想のままでしょうか。もし、皆さんの「夢」を現実のものにしたいのであれば、「夢」を「目標」に変え、その達成に向けて、必ず達成させるという強い意志をもって、計画を立て、努力を重ねる必要があります。

誰も私に「校長先生の夢はなんですか」と質問する人はいませんが、私には「夢」はありません。しかし、「目標」はたくさんあります。そしてその達成のため、日々努力を重ねております。

自身のこれまでの道のりを振り返ると、子どもから大人に成長するということは、自身が抱いた「夢」が「目標」に変わり、その「目標」を必ず達成させるという強い意志をもって生きていくようになることではないかと考えます。

こんな言葉があります。「夢・志ある者に目標あり、目標ある者に計画あり、計画ある者に実行あり、実行ある者に成果あり、成果ある者に幸せあり。」

ただ、「目標」を掲げて進む時、大きな壁にぶつかることもあるでしょう。そんな時は、「群竹の心」を思い出し、困難や挫折を乗り越えてほしいと思います。

柔軟でありながら  
強靱 しかも  
地下でしっかり  
手を握り合う  
これぞ  
われらの象徴  
群竹



(校舎北「群竹」の石碑)

卒業生の皆さんが本校で学んだことを糧として、これからの人生で、今抱いている「夢」を具体的な「目標」に変え、その達成を目指し、with コロナ、after コロナの未来の担い手として、大いに輝くことを期待します。

#### ◇御礼

第3学年の保護者の皆様は、3年間の中学校生活を修了するお子様の晴れ姿をご覧になり、深い感慨をおもちになったことと思います。お子様のご卒業を心からお祝い申し上げます。また、これまで本校教育に深いご理解とご支援を賜りましたことに厚く感謝申し上げます。

今後も、職員一同、本校教育の充実、発展に努めて参りたいと思いますので、今後とも一層のご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



田沼町長 小玉 新様 書  
(平成4年3月)